

2025年度、豊田市博物館では下記の展覧会を開催する予定です。開館1年となる春、豊田市にゆかりのある明治の傑人・岸田吟香と、その息子劉生に関する展覧会に始まります。夏にはエジプト考古学に関する大規模な展覧会、宇宙に関する最新の技術を紹介する展覧会、そして、天文学にも関心の高かった伊能忠敬の偉大な業績を紹介する冬の展覧会へと続きます。古代から最新の科学技術まで、幅広いラインナップとなっています。

開館1周年記念 岸田吟香没後120年

2025年度  
展覧会

岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—

2025年4月26日 [土] - 2025年6月15日 [日] 主催：豊田市博物館 共催：中日新聞社



吟香案詩之像 岸田劉生筆 個人蔵)

旧挙母藩士で、日本初の和英辞書や液体目薬を創出した事業家、そしてジャーナリストの先駆けであった岸田吟香。吟香の子で、「麗子像」などでおなじみの洋画家の岸田劉生。

吟香は、西洋の知識や技術を体現する一方、中国に渡り、最新の東洋文化を日本にもたらしました。劉生は、精緻な写生画を描く一方、中国の宋・元時代の絵画等から影響を受け、画風を展開させていきました。

本展では、吟香他近代日本の書と、吟香が影響を受けた趙之謙ら清朝の書作品を取り上げるとともに、劉生の画風の変遷から、西洋化とは別の「日本の近代化」の姿を紹介します。

特別展 ブルックリン博物館所蔵 古代エジプト

2025年6月28日 [土] - 2025年9月7日 [日] 主催：豊田市博物館

：中京テレビ放送、朝日新聞社



王の頭部 前2650～前2600年頃

現代人の想像をはるかに超える高度な文化を創出した古代エジプト。考古学者や歴史学者のみならず、多くの人々がこの最古の文明に興味を抱き続けていますが、その全貌は未だ解明されていません。

本展は、米国ニューヨークにあるブルックリン博物館所蔵の貴重なエジプトコレクションを軸にしながら、今まであまり触れられてこなかった古代エジプト人の暮らしや考え方に着目。彼らの「常識」や「真実」を、現代の私たちにとっての“謎”として展観していきます。TV等でおなじみの名古屋大学で博士号を取得したエジプト考古学者 河江肖剰氏の取組も紹介します。

2025 年度  
展覧会

## 深宇宙展～人類はどこへ向かうのか

2025 年 10 月 18 日 [土]- 2026 年 1 月 18 日 [日]

主催：豊田市博物館、NHK、NHK プロモーション、中日新聞社

近年、新たな発見や技術により目覚ましい成果が上がっている宇宙開発。アルテミス計画をはじめとした月面開発、小惑星探査、果ては火星での生活や宇宙旅行まで、最新技術や知見をテレビ番組と連動し、分かりやすく紹介します。トヨタ自動車が開発に関わる月面探査車ルナクルーザーなど、天文ファン以外も楽しめる展覧会です。



豊田市合併 20 周年記念

## 仮) 伊能忠敬の時代—新しい地図—その時代のとよた—

2026 年 1 月 31 日 [土] - 3 月 29 日 [日]

主催：豊田市博物館



測量調査で日本中を踏破し、「大日本沿海輿地全図」（伊能図）の作製に尽力した伊能忠敬。測量のため、彼は市域にも滞在していました。

本展では、伊能図や、使用した測量道具の数々、自筆の記録類などの国宝をとおして、彼の偉業と活動を紹介します。

また、伊能自筆の「測量日記」などから、市域での活動も紹介します。

加えて、安土桃山期の「日本地図屏風」や、江戸時代の日本を描いた古絵図から、当時の人々の世界観・空間認識の様子を紹介するとともに、合併から 20 年となる市域を描いた古絵図の数々を展示します。

国宝 伊能忠敬像 部分 (伊能忠敬記念館蔵) 江戸時代